

安全と規制について

規制について

■電波障害について

適合装置：

AXprimoW EWS101

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

■電波障害について

適合装置：

AXprimoW EWS5203

AXprimoW EWS5204

AXprimoW EWS5207

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

■輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理関連法規など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。

■技術基準適合認定について

本製品は、電気通信事業法における端末機器技術基準適合認定を取得していません。電気通信事業者の通信設備に接続しないでください。

■高調波規制について

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 準拠

適合装置：

AXprimoW EWS5204

AXprimoW EWS5207

■お知らせ

本内容に準じないで本製品を運用した結果については責任を負いません。あらかじめご了承ください。

安全と規制について

安全にお取り扱いいただくために

安全に関する注意事項は、下に示す見出しによって表示されます。これは安全警告記号と「警告」、「注意」および「通知」という見出し語を組み合わせたものです。



これは、安全警告記号です。人への危害を引き起こす潜在的な危険に注意を喚起するために用います。起こりうる傷害または死亡を回避するためにこのシンボルのあとに続く安全に関するメッセージにしたがってください。



警告

これは、死亡または重大な傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。



注意

これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。

通知

これは、人身傷害とは関係のない損害を引き起こすおそれのある場合に用います。



【表記例1】 感電注意

△の図記号は注意していただきたいことを示し、△の中に「感電注意」などの注意事項の絵が描かれています。



【表記例2】 分解禁止

⊘の図記号は行ってはいけないことを示し、⊘の中に「分解禁止」などの禁止事項の絵が描かれています。なお、⊘の中に絵がないものは、一般的な禁止事項を示します。



【表記例3】 電源プラグをコンセントから抜け

●の図記号は行っていただきたいことを示し、●の中に「電源プラグをコンセントから抜け」などの強制事項の絵が描かれています。なお、❗は一般的に行っていただきたい事項を示します。

安全に関する共通的な注意について

次に述べられている安全上の説明をよく読み、十分理解してください。




- 本書はすぐ利用できるよう、お読みになった後は必ず取り出しやすいところに保管してください。
- 本書に記載されている注意事項は必ず守ってください。
これを怠ると、人身上の傷害や本製品を含む財産の損害を引き起こすおそれがあります。

自分自身でもご注意を




本書に記載されている注意事項は、十分検討されたものです。それでも、予測を超えた事態が起こることが考えられます。操作にあたっては、指示にしたがうだけでなく、常に自分自身でも注意するようにしてください。

安全と規制について




警告

- 




■万一、異常が発生したときはすぐに装置の電源を切断してください。

万一、煙がでている、変なにおいがするなどの異常が発生した場合や、装置の内部に異物や水などが入った場合は、ACアダプタまたは電源ケーブルをコンセントから抜いて装置の電源を切断してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 




■コンセントは装置近傍に設置してください。

電源プラグをすぐに抜けるように、コンセントは装置近傍に設置してください。またコンセントの周りには物を置かないでください。
- 




■異物を入れないでください。

装置の入排気孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 




■修理・改造・分解しないでください。

装置の修理や改造・分解をしないでください。感電や火災、やけどの原因となります。特に電源ユニット内部は高電圧部が数多くあり、万一さわると危険です。
- 

■衝撃を与えないでください。



落下させたりぶつけるなど、過大な衝撃を与えないでください。万一、装置を落としたり部品を破損した場合は、電源ケーブルをコンセントから抜いて装置の電源を切断したあと、保守員をお呼びください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 

■装置の上に物を置かないでください。



装置の上に虫ピン、クリップなどの金属物や花びん、植木鉢など水の入った容器を置かないでください。中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- 

■指定以外の電源で使用しないでください。

指定された電源電圧以外で使用しないでください。電圧の大きさにしただがって内部が破損したり過熱・劣化して、火災・感電の原因となります。

また、電源コンセントは、使用する電圧および電源コードに合ったものを使用してください。その他のコンセントを使用すると感電のおそれがあります。
- 

■接地してください。


必ず接地付きのコンセントを使用してください。接地を取らずに使用すると、感電の原因となるとともに、電氣的雑音により、障害発生の原因となります。
- 


■装置の取り扱いは資格を持った技術者または保守員が行なってください。



装置の設置、移動およびケーブルの取り付け、取り外しは資格を持った技術者または保守員が行なってください。取り扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。







安全と規制について


警告


-  ■本製品は屋内で使用してください。



 本製品は屋内で使用してください。また、全てのインタフェースケーブルは、屋内配線されているものを接続してください。屋外配線されているケーブルを接続する場合は、雷に対する対策を必ず施した上で接続してください。




-  ■装置本体のラックへの設置は2人で行ってください。

 装置本体をラックに設置する場合は、2人以上で行ってください。1人で作業を行った場合、落下・転倒などにより、重傷を負うおそれがあります。
-  ■電源ケーブルおよび AC アダプタを大切にしてください。
 -  ● 電源ケーブルおよびACアダプタは指定のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、電源コードの銅線が露出したり、ショートや一部断線で過熱して、感電や火災の原因となります。
 -  ● 物を載せない
 -  ● 引っ張らない
 - 押し付けない
 - 折り曲げない
 - ねじらない
 - 加工しない
 - 熱器具のそばで使用しない
 - 加熱しない
 - 束ねない
 - ステップルなどで固定しない
 - プラグやコードに傷がついた状態で使用しない
 - 紫外線や強い可視光線を連続して当てない
 - アルカリ、酸、油脂、湿気へ接触させない
 - 高温環境で使用しない
 - 定格以上で使用しない
 - ほかの装置で使用しない
 - 電源プラグ以外を持ってコンセントの抜き差しをしない
 - 濡れた手で触らない
 - 電源コードを覆わないで下さい。コードの上を敷きものなどで覆うことにより、それに気づかないで重い物を乗せてしまうことがあります。
 - 電源プラグはすぐに抜けるよう、コンセントの周りには物を置かないでください。
-  ■電源プラグの接触不良やトラッキングに注意してください。

 電源プラグは次のようにしないと、トラッキングの発生や接触不良で過熱し、火災の原因となります。











 - 電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。
 - 電源プラグはほこりや水滴が付着していないことを確認し、差し込んでください。付着している場合は乾いた布などで拭き取ってから差し込んでください。
 - 電源プラグを差し込んだとき、緩みのないコンセントを使用してください。
 - コンセントの工事は、専門知識を持った技術者が行ってください。
-  ■タコ足配線はしないでください。

 同じコンセントに多数の電源プラグを接続するタコ足配線はしないでください。コードやコンセントが過熱し、火災の原因となるとともに、電力使用量オーバーで分電盤のブレーカが落ち、ほかの機器にも影響を及ぼします。
-  ■エアダスターを火気の近くで使用しないでください。

 光コネクタの清掃時、可燃性ガスのエアダスターを使用する場合は、火気の近くで使用しないでください。火災の原因となります。
-  ■梱包用ポリ袋の保管について

装置の梱包用の袋は、小さなお子様の手の届くところに置かないでください。かぶったり口に入れたりすると窒息するおそれがあります。

注意

-  ■湿気やほこりの多いところに置かないでください。
湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 

-  ■入排気孔をふさがないでください。
装置の入排気孔は内部の温度上昇を防ぐためのものです。物を置いたり立てかけたりして入排気孔をふさがないでください。内部の温度が上昇し、発煙や故障の原因となります。入排気孔から 50mm 以上スペースを確保してください。
また、入排気孔は常にほこりが付着しないよう、定期的に点検し、清掃してください。
-  ■不安定な場所に置かないでください。
 - 装置を卓上に設置する場合、装置の荷重に十分に耐えられる作業机などの上に水平に設置してください。ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置いた場合、落ちたり倒れたりしてけがの原因となります。
 - 装置をラックに搭載する場合には、装置が安定した状態にあるか十分に確認して作業してください。不安定な状態で作業した場合、落下や転倒によるけがの原因となります。
-  ■装置を縦置きしたり、壁に立掛けたりしないでください。
装置を卓上に設置する場合は横置きで使用してください。縦置きしたり、壁に立掛けたりすると転倒した場合、けが・故障の原因となります
-  ■装置を積み重ねないでください。
装置を積み重ねないでください。装置を破損するおそれがあります。また、バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
-  ■乗ったり、よりかかったり、物を置いたりしないでください。
装置に乗ったり、よりかかったり、物を置いたりしないでください。装置を破損するおそれがあります。また、バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
-  ■装置を移動させる場合はケーブルを取り外してください。
装置を移動させる場合は必ずすべてのケーブル類を装置から外してから行ってください。装置やケーブルが変形したり、傷ついたりして、火災・感電の原因となることがあります。
-  ■温度差のある場所へ移動した場合は、すぐに使用しないで下さい。
移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。結露した状態で使用すると火災・感電の原因となります。そのままその場所で数時間放置してから使用してください。すぐに電源を投入せず、使用する場所で数時間そのまま放置し、室温と装置内温度がほぼ同じに安定してから使用してください。

注意



■レーザー光に注意してください。



本装置はクラス 1 レーザー製品です。SFP および SFP+モジュールなどレーザーデバイスの内部にはレーザー光を発生する部分があります。分解・改造をしないでください。また、内部をのぞきこんだり、光学機器を通してのぞいたりしないでください。レーザー光により視力低下や失明のおそれがあります。（レーザー光は目に見えない場合があります。）



■目的以外に使用しないで下さい。

装置やオプション機構を踏み台やブックエンドなど、スイッチとしての用途以外に装置を利用しないでください。壊れたり倒れたりし、けがや故障の原因となります。



■清掃について


装置および装置周辺のほこりは、定期的に清掃してください。装置停止の原因となるだけでなく火災・感電の原因となることがあります。




■高温になるところに置かないでください


直射日光が当たる場所やストーブのような熱器具の近くに置くと、部品に悪い影響を与えますので注意してください。

通知


-  ■ **トランシーバにラベルなどを貼り付けたりしないでください。**



トランシーバには、メーカーおよび弊社の標準品であることを示すラベルを貼り付けています。ただし、このラベルを貼り付けているのは、トランシーバの放熱や、ケージからの抜けを防止する機構の妨げにならない部分です。


放熱や抜け防止機構の妨げになるところにラベルなどを貼り付けると、トランシーバが故障したり、ネットワークインタフェース機構を破損したりするおそれがあります。
-  ■ **接続端子に触れないでください。**


コネクタなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしてショートさせないでください。発煙、接触不良の故障の原因となります。
-  ■ **電源設備は、突入電流による電圧低下が起きないように考慮してください。**

本装置の電源を投入すると突入電流が流れます。突入電流により、電源設備の電圧低下が起きないように考慮してください。特に、本装置と他の機器の突入電流発生タイミングが重なる場合、電圧低下が大きくなるため、タコ足配線をしないでください。

電圧低下が起きると、本装置が起動しなくなるだけでなく、同じ電源設備に接続された他の機器にも影響をおよぼします。
-  ■ **装置の持ち運び、梱包などを行う場合は、静電気防止用のリストストラップを使用してください。**


静電気防止用リストストラップを使用してください。静電気防止用リストストラップを使用しないで取り扱った場合、静電気により機器を損傷することがあります。
-  ■ **インタフェースケーブルを大切にしてください。**
 - ケーブルは足などをひっかけたり、ひっぱったりしないように配線してください。ひっかけたり、ひっぱったりするとけがや接続機器の故障の原因となります。
 - ケーブルの上に重量物を載せないでください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接続機器などの故障の原因となります。
-  ■ **SFP および SFP+のレバーを無理に引っ張らないようにしてください。**

SFP および SFP+トランシーバの取り外しがしにくい場合は、レバーを下ろした状態で、トランシーバの本体を装置の方向に指で押し込み、トランシーバを取り外すことができないか確認してください。無理にレバーを引っ張ると、トランシーバ故障の原因となります。
-  ■ **トランシーバの取り付けと取り外しは、必要以上に行わないでください。**

トランシーバの取り付けと取り外しは、必要以上に行わないでください。トランシーバの取り付けおよび取り外しを過度に行うと、耐用年数が短くなる場合があります。
-  ■ **強い磁気を近づけないでください。**


磁石やスピーカなどの強い磁気を発生するものを近づけないでください。装置の故障の原因となります。

通知


-  ■テレビやラジオを近づけないでください。

テレビやラジオなどを隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。テレビやラジオに雑音が入った場合は次のようにしてください。

 - テレビやラジオからできるだけ離す。
 - テレビやラジオのアンテナの向きを変える。
 - コンセントを別々にする。


-  ■硫化水素の発生するところや、塩分の多いところに置かないでください。


温泉地など、硫化水素の発生するところや、海岸などの塩分の多いところでお使いになると本装置の寿命が短くなるおそれがあります。


-  ■煙霧状の液体を使用する場合は、装置を保護してください。

煙霧状の殺虫剤などを使用するときは、事前にビニールシートなどで装置を完全に包んでください。装置内部に入り込むと故障の原因となります。


また、このとき装置の電源は切断してください。

-  ■エアダスターの取り扱いに注意してください。
 - エアダスターは光コネクタ清掃用のものを使用してください。光コネクタ清掃用以外のものを使用すると、フェルール端面を汚すおそれがあります。
 - フェルール端面にエアダスターのノズルや容器が触れないようにしてください。故障の原因となります。


-  ■光コネクタクリーナーの取り扱いに注意してください。
 - 光コネクタクリーナーは専用のものを使用してください。専用以外のものを使用すると、フェルール端面を汚すおそれがあります。
 - 清掃するとき、過剰な力で押し付けしないでください。フェルール端面を傷つけるおそれがあります。

-  ■お手入れのときは

装置外装の汚れは、乾いたきれいな布、あるいは、布に水か中性洗剤を含ませてかたく絞ったもので、汚れた部分を拭いてください。ベンジンやシンナーなどの揮発性の有機溶剤や薬品、化学ぞうきん、殺虫剤は、変形・変色および故障の原因となることがあるので使用しないでください。

-  ■長時間ご使用にならないときは

長期間の休みや旅行などで長時間装置をご使用にならないときは、安全のため電源ケーブルをコンセントから抜いて装置の電源を切断してください。

-  ■この装置の廃棄について

この装置を廃棄する場合は、地方自治体の条例または規則に従って廃棄するか、地域の廃棄処理施設にお問い合わせください。